



里山通信

「蒲沢(かばさわ)」

第57号

平成21年11月20日発行

発行責任者

里山ねっと赤坂

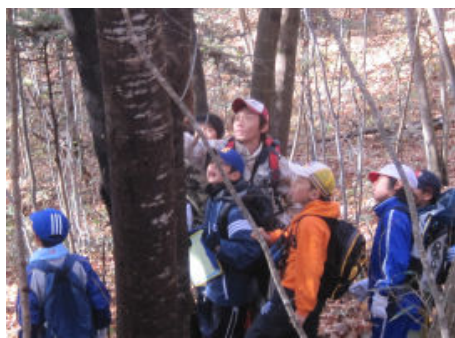
代表 和田 伸太郎



春に引き続いて、地元の川前小学校の先生方と連携して「里山体験学習」を実施しました。

まず、10月29日(木)には、3年生を案内して、銅谷原コースを散策しました。3年生のお目当ては、どんぐりの採集で、子供たちは、皆ビニール袋を持参して参加しました。帰ってから里山の恵を活かした工作教室を行う予定だそうです。続いて11月18日(水)は、4年生を案内して水道タンクから蒲沢山に入りました。当初の計画では、見晴台から沢に降りて向こう側

の林道に出るコースを考えていたのですが、前夜からの強い雨で足場が悪いことと、今回、宮城のサル調査会の伊澤先生(宮城教育大名誉教授)と宇野先生(子供たちはイケメンの宇野さんと呼びます(^.^))が同行されたので、予定を変更して動物の痕跡(フィールドサイン)探しをしながら、森の中を探索することにしました。伊澤先生の「山に入ったら、見る、聞く、触る、嗅ぐ、味わう」という五感をフル稼働させて自然と接しなさい」という話は、子供にもよくわかり、大変教えられました。



(リスの巣穴?)

(見晴台鉄塔脇で伊澤先生のお話を聞く子供たち)